

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	乳癌発生進展に関わる新規転写抑制因子ネットワーク蛋白の免疫組織化学的解析
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	愛知医科大学 病理学講座
研究責任者	愛知医科大学 病理学講座 准教授 笠井謙次
研究の意義・目的	乳癌発生・進展の機序の解明を目的としています。
対象となる患者さん	乳癌と診断された患者さん
研究の方法	愛知医科大学病院にて通常の診断・治療目的のため生検・手術された診断済み乳腺パラフィンブロックの残余から未染色薄切標本を作製し、H&E 染色と共に市販抗体を用いた免疫組織化学染色を行い、乳癌組織での TSHZ2 および同転写抑制因子ネットワーク遺伝子産物の発現解析を行います。これら蛋白質の発現状況は病理組織学的所見に加えホルモン受容体発現などに基づく乳癌サブタイプ分類や臨床病期・画像所見等との関係性も解析し、TSHZ2 および同転写抑制因子ネットワーク遺伝子産物発現異常の臨床的意義について検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022年3月31日
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>診療情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。</p> <p>個人情報の開示を希望する場合の手続方法、保有する個人情報の利用目的の開示を求められた場合の手続方法及び保有する個人情報の開示に係る手続方法についてのお問い合わせは下記までお願いします。</p>
その他	
問い合わせ先	<p>愛知医科大学 病理学講座</p> <p>担当者：教授 笠井謙次</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 12265、12306)</p>